

Medicine-Based Town

MBT

VOL. 8

February 2021

CONSORTIUM

医学を基礎とするまちづくりMBTコンソーシアム

「MBTコロナ克服キャンペーン」

特集

- ✓ MBTコロナ感染対策/企業無料相談の取り組み
- ✓ 「ビジネス活性化Webセミナー」&「座談会」
- ✓ コロナ不活化研究成果発表と商品開発



2021年1月22日、東大寺にて実施の「第1回MBTコロナ対策Web座談会」の様子
(詳細は5頁参照)

MBTコンソーシアムの“感染症部会”は奈良医大と連携して、コロナ感染の一刻も早い終息と活発な企業活動や経済の復活を願う社会貢献の一環として「MBTコロナ克服キャンペーン」と銘打ち、種々コロナ感染対策を推進しています。以下に、MBT感染対策の考え方や、その内容の具体的な取り組みを紹介します。

◆MBTコロナ感染対策 ⇒ 「3密」より本質的な「3感染ルート遮断」を重視

①3感染ルート遮断とは？

- ・コロナ感染対策として「密閉」「密集」「密接」の三密を避けることが一般的ですが、感染の本質は、①接触感染、②飛沫感染、③エアロゾル感染、の3感染ルートを遮断することです。
- ・MBTコンソーシアムでは、3感染ルート遮断を重視し、奈良医大の医学知識を基に、会員企業に向け、更には会員企業の紹介があれば一般企業にも向けて“コロナ対策個別無料相談”の実施をいち早く世間に発信し、取り組みを進めてきました。
- ・そして、その対策を施した取り組みに対して、右図のようなステッカーでMBTコロナ感染対策を啓発してきました。



②3感染ルート遮断のモデル店舗展開

- ・店舗の賛同を得て、3感染ルート遮断を実施のモデル店舗づくりを下記の3店舗で行いました。
- ・飛沫感染遮断には従業員やお客様へマスクの着用を、エアロゾル感染遮断には十分な店内換気対策を、そして、接触感染対策には感染予防意識の高いお客様が自ら手指や椅子、テーブルなどを消毒できるよう店内環境を整えることとし、身の回りにアルコール消毒液、アルコールウェットシートを配置する対策を実施しました。

奈良医大内ドールコーヒー店



クオール薬局梅田ガーデン店



大和リゾートホテルレストラン



◆「コロナ対策・企業無料相談」を全国に発信

①首都圏のJR山手線や地下鉄の車両に中吊り広告



JR山手線の中吊り広告



- ・9月～10月にかけて、図のような車内中吊り広告を行い、奈良医大とMBTコンソーシアムが連携して行っているコロナ対策個別無料相談の実施をPRしました。
- ・広告を行った路線は、JR：山手線、東京メトロ：丸の内線・千代田線・日比谷線、都営地下鉄：新宿線、大江戸線です。

◆ビッグイベントのコロナ感染対策を助言、MBTコロナ対策ステッカーで実施をPR

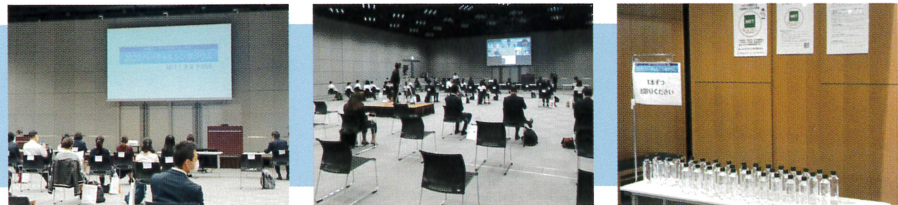
①日本経済新聞社主催「日経ウーマノミクスフォーラム」



- ・全国の女子高校生・大学生が「描け!未来予想図」のキャッチフレーズの下で未来を先取りするアイデアを競うプレゼンテーション(通称:女性甲子園)が9月30日、大阪ハービスホールで約100人が参加して実施されました。
- ・日本経済新聞社から、その実施に先立ちMBTコロナ感染対策の相談を受けましたので、9月16日にZoomによるWeb会議で会場内の参加者の動線に従い、3感染ルート遮断の観点から細かく対策を助言しました。

・フォーラム開催当日は、その助言を参考に会場で対策が実施されました。フォーラム終了後に主催者が行った参加者アンケートでは、コロナ対策に大満足との評価をいただきました。

コロナ感染対策を実施の会場風景



②京都市成長産業創造センター(ACT京都)「創立7周年記念フォーラム」



- ・ACT京都は、産学公連携で、最先端の地域大学技術シーズを事業化に導くプロジェクトを推進し新事業支援を行う組織で、創立7周年大会が、会場とWebを用いたハイブリッド会議で11月19日に開催されました。
- ・細井理事長がMBTが行っているコロナ対策活動について講演し、合わせて会場でもMBTコロナ対策を実施し、その啓発も行いました。

③けいはんな学研都市周辺地域の種々イベントに対するコロナ相談



- ・関西文化学術研究都市(通称:けいはんな学研都市)推進機構が、周辺の精華町・木津川市・京田辺市などにも呼びかけ、成人式や子供科学教室、講演会、交流会など、多くの人が集まる催しのコロナ感染対策相談会を、奈良医大感染症センターの笠原センター長を講師に、12月10日に開催しました。

Column エム・ビー・ティ

情報の発信者側と受信者側の相違 ～新型コロナウイルス感染症で思ったこと～

MBTコンソーシアム理事長 細井 裕司



情報の受け渡しにおいて、発信者側と受信者側で相違があることが多々あります。つまり、発信者側は100%十分に発信しているのに、受信者側では10%しか受け取っていない場合です。例えば、医師が90歳の患者さんに医学用語を正確に使って100%正しい説明をしたが、患者さんは10%も理解できていない場合です。このとき、この情報の受け渡しは、10%成功したと言うことになります。受信者側に届いたパーセンテージが正しい値です。

新型コロナウイルスでもこのようなことがあります。発信者側はカタカナ英語を使って正しく説明します。例えば、パンデミック、クラスター、ロックダウン、ソーシャルディスタンス、オーバーシュートなどです。日本人の何割がこのカタカナ英語を理解しているのでしょうか。どうして、世界的大流行、感染者集団、都市封鎖、感染安全距離、感染爆発と言わないのでしょうか。100%正しい発信をしているつもりの方の前述の医師のようです。ちなみに、英語ではソーシャルディスタンスはSocial distancing、オーバーシュートはアメリカ人には通じずOutbreakの方が通じるようです。

◆現場における感染対策助言

①東大寺二月堂修二会ほか



- ・東大寺の二月堂修二会は、スペイン風邪やインフルエンザの感染症拡大時にも、また戦時中にも途切れることなく1270年連続と続いてきた伝統行事です。その行事を新型コロナ感染時の現在にも途切れさせずに、コロナ対策を行いながら継続したい東大寺からコロナ対策相談が寄せられました。
- ・9月から数回にわたり現場で打ち合わせを行い、練行衆が修行に臨む2週間前から3月14日までの修二会終了までの、期間中全ての行動や環境に助言を行いました。

②奈良市餅飯殿(もちいどの)センター街



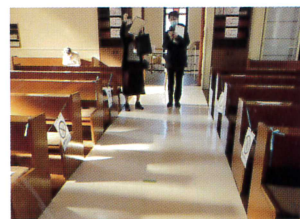
- ・観光都市奈良にあって、古くから商いの中心地である餅飯殿センター街からも、商店主にコロナ対策の重要性の啓発とコロナ対策助言を求めて相談が寄せられました。
- ・2020年11月7日に、まずはセンター街の集会所でコロナ対策の基本知識の勉強会を実施し、その後センター街のモデル店舗において、コロナ感染対策の助言を行いました。

③奈良ホテルおよび大和リゾートホテル



- ・コロナ禍にあって、観光客の安心・安全を担保したい、またコロナ対策を実施した会場での結婚式やパーティなどの多人数が集まる催しができる工夫を凝らしたい、などの要望から、奈良県を代表する有名ホテルからもコロナ対策の相談が寄せられました。
- ・ホテルの客室、宴会場、更には裏方の隅々まで現場を回り助言を行いました。

④カトリック大和八木教会



- ・クリスマスが近づく12月初めに、コロナ感染対策を万全に行い教会でのミサを毎週実施したい、という相談が寄せられました。
- ・12月6日に、ミサが行われている教会に出向きミサの進行を確認しながらコロナ感染リスクと対策について助言を行いました。

◆“コロナ対策奈良モデル”発信の場、「MBTコロナ克服キャンペーン奈良」会議を開催



- ・3感染ルート遮断を重視するMBTコロナ感染対策の取り組みを奈良地域で拡げ、奈良は安心・安全な場所である証明の“奈良モデル”を全国に発信しよう、との思いで、2020年12月8日に奈良ホテルで「MBTコロナ克服キャンペーン奈良」会議を開催しました。
- ・大会には、呼びかけに賛同された奈良の観光や経済をリードする、東大寺、春日大社、奈良ホテル、餅飯殿センター街からキーマンが参加され、それぞれ現在実施中のコロナ対策を紹介し、今後も連携や情報共有を行いながらコロナ対策に万全を期すことを確認しました。
- ・本大会は、コロナ渦が収まるまで、タイムリーに開催していく予定です。



東大寺
森本執事



奈良ホテル
福田取締役



もちいどの
センター街
松森理事長



春日大社
藤岡禰宜

・「MBTコロナ克服キャンペーン」推進に当たり、細井理事長よりMBTが新型コロナ感染対策の取り組み全体の紹介と社会貢献の意義を会員や一般社会に訴える機会として、会場とWeb併用のハイブリッド会議セミナーやWeb座談会を実施しました。

◆2020年12月18日 MBTビジネス活性化Webセミナーを開催

- ・奈良県コンベンションセンター203号室で、MBTコンソーシアムの第7回会員会議を兼ねた「MBTビジネス活性化Webセミナー」を、MBTコンソーシアム・奈良医大・損保ジャパン・南都銀行、の4者の共同主催で開催しました。
- ・会場に59名、Web(Zoom)には73名の、合計129名が参加したほか、TVや新聞の報道機関も入り、ニュース番組や新聞等でも内容が紹介されました。講師と講演概要を以下に示します。



■第1部 細井裕司(奈良医大理事長・学長、MBTコンソーシアム理事長)
(講演概要)

- ・MBTの本質は医学による産業イノベーションであり、MBT発想の原点は、自身の軟骨伝導の発見を産業に応用したことで、これらの活動を通して社会貢献を行うことである。
- ・180社を越えるMBTコンソーシアム会員と、推進中の医学的に正しいコロナ感染対策や不活化研究、コロナ対策無料相談で社会貢献を目指す。



■第2部講師石川昌和氏(損保ジャパン奈良支店法人支社支店長代理)
(講演概要)

- ・損保ジャパンは、感染症などの危機管理や災害対策などに備える事業継続計画(BCP)策定サービスを勧めているので相談してほしい。

◆2021年1月22日 「第1回コロナ対策Web座談会」を実施、You Tubeで配信

狭川普文師

- ・1975年龍谷大学修士課程修了
- ・1977年修二会新入
- ・2010年東大寺執事長
- ・2016年華嚴宗管長・東大寺別当
- ・2019年再任され現在に至る



笠原敬
(奈良医大病院教授
(感染症センター長))



細井裕司
(奈良医大理事・学長
(MBTコンソーシアム理事長))

Web座談会



Web視聴者

- ・新型コロナの克服のみならず、コロナ収束後またはwithコロナ時代の私達の生き方を考える時期にきているとの認識から、各界の著名人の方と意見交換を行う企画を考えました。その第1回目として、宗教界から華嚴宗管長・第223世東大寺別当の狭川普文(さがわふもん)師をお迎えし、1月22日(金)、東大寺の特別応接室にて座談会を開催しました(表紙写真)。
- ・座談会は、細井理事長が聞き手として進行を担当し、東大寺の創建や1270年もの間、一度も絶えることのなかった修二会(二月堂のお水取り)にまつわる歴史を狭川普文師が、また、感染症にまつわる医学的解説や感染症対策を笠原センター長が発言する、という内容で進められました。
- ・東大寺の修二会は天然痘やコレラ、スペイン風邪、インフルエンザなどの感染症との闘いや、南都焼き討ち、松永・三好の戦いに巻き込まれての焼き討ち、太平洋戦争などの苦難の中でも、そ

の時々工夫と知恵で乗り切り続いてきました。そして、コロナ禍の本年度もMBTコロナ相談で得られた知恵や対策を盛り込んで実施の予定です。

- ・この座談会は、奈良医大関係者やMBTコンソーシアム会員のみならず、広く一般の皆様にも視聴していただきたいとの思いから、「You Tube」による即時配信及びオンデマンド配信を行いました。

- ・奈良医大とMBTコンソーシアムが連携して、2020年5月に“オゾンガスによるコロナ不活化を確認”の発表をして以来、全国からコロナ不活化研究で注目され、全国の多くの企業から自社製品の評価や研究依頼が寄せられています。
- ・コロナ不活研究の一環で、2020年9月に柿タンニン(柿渋)が、また11月には市販のお茶の一部にも、コロナ不活化の効果があることを記者会見で発表しました。以下に、その発表内容や、発表の際の様子を紹介します。

◆柿タンニン(柿渋)が新型コロナウイルスを不活性化することを確認

- ・長年、柿タンニン(柿渋)の抗菌作用ならびに抗炎症作用研究を進めてきた奈良医大免疫学の伊藤利洋教授と、先にオゾンガスによるコロナ不活化研究成果を発表した奈良医大微生物感染症学の矢野寿一教授らは、試験管実験において、“新型コロナウイルスと唾液のみ”と“新型コロナウイルス、唾液に柿渋を加えた場合”を比較して新型コロナウイルスの活性度を評価しました。その結果、柿渋を加えた場合では、柿渋濃度並びにウイルスとの接触時間の要素はあるものの、新型コロナウイルス不活化ができることを確認し、その結果を、2020年9月15日に記者会見で発表しました。加えて、柿渋と唾液が混ざる条件が作り出せる食品の開発参加を企業に呼びかけました。現在、食品など多数の会員企業が開発に挑戦中です。

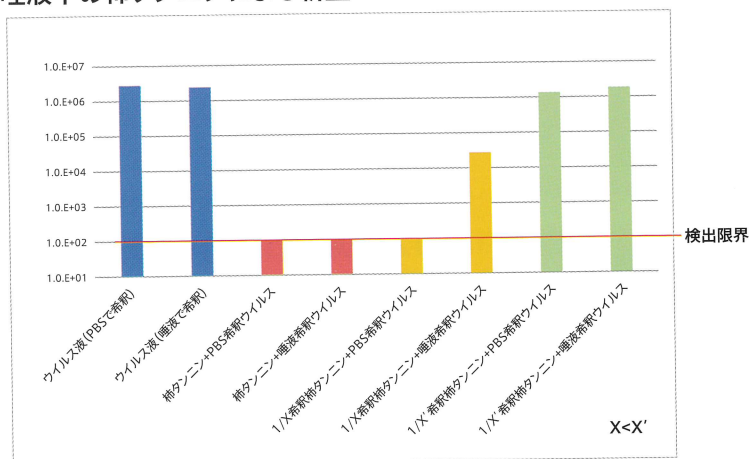
唾液中の柿タンニンによる新型コロナウイルスの不活化



↑9/15 記者会見の様子

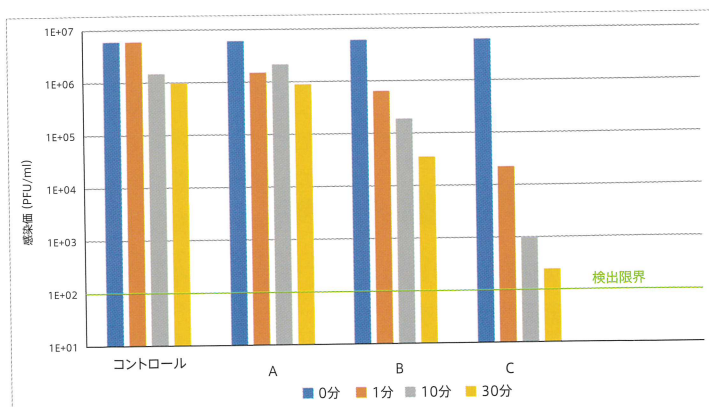


←食品開発を企業と検討



◆市販のお茶の一部には新型コロナウイルスの不活性化に効果があることを発表

- ・奈良医大微生物感染症学の矢野寿一教授は、2020年11月27日の記者会見(写真)で、市販されている緑茶や紅茶など、約10種を試した結果、新型コロナウイルス不活化に効果があるお茶があることを世界で初めて確認した、と発表しました。
- ・実験は、試験管の中で常温のお茶にウイルス培養液を混ぜて、時間の経過とともにウイルスの不活化状態を評価したものです。その結果、紅茶では1分後に、茶葉から淹れた緑茶では10分後に、ペットボトルの緑茶は1種類のみ30分後に新型コロナウイルスの99%が不活化することを確認しました。



1. MBTロゴマーク認定の付与基準を更新



- ・ MBTコンソーシアムでは、医学知識に基づいて創生された製品、サービス等の成果物で、審査委員会が規定する付与基準を満たしていると判断した際に、左の図形商標 (MBTロゴマーク) 使用を許諾する制度を推進しています。
- ・ 2021年1月に付与基準が以下の様に更新されました。
 - <付与基準1> 医学的な研究成果 (過去の論文・実施例等も含む) に基づきMBTの理念の実現に寄与する製品やサービス等であること
 - <付与基準2> 社会に貢献しに寄与する製品やサービスであること
 - <付与基準3> 対象の製品やサービス等の提供者がMBTコンソーシアムの会員であること

2. MBTロゴマーク申請が相次ぎ、審査委員会で2件を承認 (審査日:2021年2月5日)

① SafetyNet・MBT 申請者: ケアコム(株)



- ・ スマホ画面で患者の生体波形チェックができるナースコールシステムで、奈良医大、会員企業のケアコム(株)や日新ネットワーク(株)が複数の生体計測装置メーカーと共に世界に先駆けて開発、実用化したものです。
- ・ 既に、奈良医大に導入、患者の急変見逃しを防止し生命を守ったという医学的実施例も報告されています。

② 電極穴付きMEP用弾性ストッキング 申請者: モード・ユニット工房(株)



↑従来品の装着

本開発品→

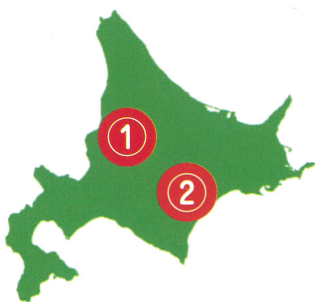


- ・ これまでは、手術中の運動誘発電位 (MEP : moor evoked potentials) 計測電極を足に貼り、その上に血栓防止の弾性ストッキングを装着していたが、電極ズレやリード線の皮膚食い込み、装着時間ロスなどの課題がありました。
- ・ その改善策として、弾性ストッキングに複数の切り欠きを設け、装着後にその切り欠きから電極を挿入し貼ることができる弾性ストッキングを開発しました。これより、従来とは性能的には遜色はなく、装着時間ロスや患者の不快感を開放することができました。奈良医大での臨床検討を行い、商品化を目指します。

3. MBT北海道の活動報告 →MBTリンクを活用した健康づくり/見守りサポート

① 沼田町 (空知総合振興局内)

② 更別村 (十勝総合振興局内)

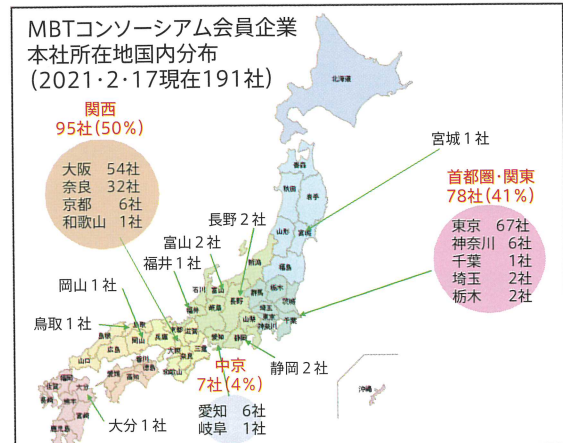
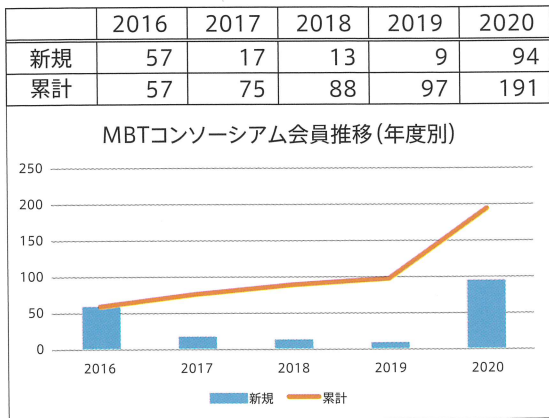


- ・ MBT研究所: 梅田智広研究教授はMBTリンク(株)と連携して、バイタルセンサーや環境センサーデータからIoTを活用して住民の健康増進や予防、見守りの仕組みづくりを、北海道の沼田町や更別村の、人口3000人前後の地方で自治体とも実施契約を交わして推進中です。
- ・ 地方に注力するのは、人口減少により近隣に病院が無い、無医村である等の深刻な影響が出始めており、高齢者でもIoTを活用して自らの健康管理を行う必然性に迫られている背景があります。

・ その為には、高齢者にも使いやすく、わかりやすく、安価な機器やサービスが求められており、MBTの活動は超高齢社会を迎えた日本の新しい健康管理方式の先取りを北海道で進めているとも言えます。

MBTコンソーシアム情報：会員数の推移と本社所在地国内分布

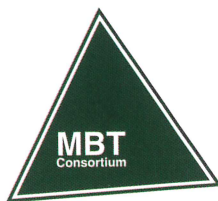
・MBTコンソーシアムは、2016年4月に57会員で発足、2017年～2019年は微増、2020年にはコロナ禍対策で一気に会員数を増やし、2021年2月17日現在で191社となりました。そして、会員企業の本社分布も東京67社、大阪54社をはじめ、18都道府県に拡大し全国的な活動になってきております。



奈良県立医科大学と共に、医学を基礎とする安全、安心のまちづくりを通じて、社会に貢献するMBTコンソーシアム会員191企業・団体(業種別で記載)

(2021年2月現在)

業種別	MBTコンソーシアム会員	企業数
1. 農林・水産・鉱業		0
2. 建設	(株)イムラ、(株)奥村組奈良支店、(株)キャンディル、(株)きんでん奈良支店、(株)グッドライフ、グリーンアーム(株)、(株)近藤建築、(株)崎山組、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、大和リース(株)、(株)内藤建築事務所、松田電気工業(株)、(株)松田平田設計、(株)ライフアートプランテック	15
3. 食品	石井物産(株)、江崎グリコ(株)、春日井製菓(株)、カバヤ食品(株)、カンロ(株)、キリン(株)、寿スピリッツ(株)、三和澱粉工業(株)、中日本カプセル(株)、(株)バロックス、(株)日田天領水、(株)ボタジェ、UHA味覚糖(株)	13
4. 繊維・パルプ・紙	(株)サンロード、(株)島田、(株)新生、(株)高木包装、(株)タチバナ、帝人フロンティア(株)、東洋紡(株)、(株)Bonrich、日清紡ホールディングス(株)、日本エレテックス(株)、(株)野崎染色、(株)三笠、ミツフジ(株)、モード・ユニット工房(株)、(株)ワコール	15
5. 化学	(株)コーセー、JSR(株)、積水マテリアルソリューションズ(株)、住友ベークライト(株)、(株)テクノブル、ナスクナテクノロジー(株)、明晃化成工業(株)、山本商事(株)	8
6. 医薬品	クオール(株)、(株)グランソール免疫研究所、佐藤薬品工業(株)、(株)ツムラ、日本ペーリンガーインゲルハイム(株)、丸石製薬(株)、ロート製薬(株)	7
7. 石油・ゴム・窯業		0
8. 鉄鋼・非鉄・金属	丸一鋼管(株)	1
9. 機械	(有)アベックス、KTX(株)、(株)タカソノ、(株)タカトリ、DMG森精機(株)、テクノグローバル(株)、不二精機(株)、ユニオンツール(株)	8
10. 電気機器	アイワ(株)、(株)アズマ、(株)HBコーポレーション、(株)エム・エイチ・シー、応用電機(株)、(株)オーディオテクニカフクイ、(株)コムテック、シロカ(株)、シンクローア(株)、(株)タムラテコ、(株)ドゥエルシアソシエイツ、(株)日本トリム、日本捲線工業(株)、パナソニック(株)、ファーストネーションズ(株)、富士通(株)、船井電機(株)、マクセル(株)、(株)村田製作所	19
11. 輸送機器		0
12. 医療・精密機器	岩崎工業(株)、エンプラス(株)、大研医器(株)、キャノンメディカルシステムズ(株)、(株)ケアコム、セイリン(株)、セン特殊光源(株)、テルモ(株)、凸版印刷(株)、奈良精工(株)、ニプロ(株)、(株)フィリップス・ジャパン、(株)プロルート丸光、丸三製薬バイオテック(株)	14
13. その他製造	あけぼの化成(株)、(株)REO研究所、エクレール(株)、(株)MTG、(株)オーク製作所、オーブ・テック(株)、カナサンテクノサービス(株)、(株)キシマ、グラストップ(株)、(株)サンクレスト、三友商事(株)、昭和西川(株)、(株)ゼノン、ダイドレ物流(株)、(株)デルフィーノケア、(株)トラストレックス、(株)半導体エネルギー研究所、(株)フジ医療器、(株)ブチファーマシスト、(株)マンダム、(株)MONDOCOLO、やまと真空工業(株)、レック(株)	23
14. 商業	(株)イマナカ、(株)暁星ジャパン、BEST JAPAN(株)、(株)ONE	4
15. 金融・保険	アフラック生命保険(株)、MS&ADインターリスク総研(株)、損害保険ジャパン(株)、(株)南都銀行、日本生命保険(相)、(株)三井住友銀行	6
16. 不動産		0
17. 運輸・倉庫	近鉄グループホールディングス(株)	1
18. 情報・通信	アイテック阪急阪神(株)、(株)NTTデータ経営研究所、近鉄ケーブルネットワーク(株)、KDDI(株)、(株)KDDI総合研究所、コニカミノルタ(株)、(株)三技協、(株)産業経済新聞社、Takusu(株)、西日本電信電話(株)奈良支店、日新ネットワークス(株)、(株)日本経済新聞社、(株)プロアシスト、丸紅情報システムズ(株)、(株)三菱総合研究所	15
19. 電力・ガス	大阪ガス(株)、関西電力(株)、(株)関西エネジーソリューション、大和ガス(株)、奈良電力(株)	5
20. サービス	(株)アリエル、(株)インデックスコンサルティング、(株)イクスレイヤー、(株)SRA、(一社)観光品質認証協会、環境衛生薬品(株)、北関東総合警備保障(株)、(株)Kirala、(株)健康都市デザイン研究所、(一財)弘済会、(株)小山、(有)サンズバル、サンワテクノス(株)、大和リゾート(株) THE KASHIHARA、(株)ドクターネット、(株)トールコーヒー、(株)奈良ホテル、(株)日経アドエージェンシー、ニューロネットワーク(株)、(株)プレス、ヘルスグリッド(株)、明豊ファシリティアークス(株)、(株)メディカルノート、メディケアリンク(株)、(株)ライフビジネスウェザー、リーズンホワイロイヤルコントラクトサービス(株)、(株)ローソン奈良支店、ワタキューセイモア(株)	29
21. 公共・その他(自治体、大学、病院等)	橿原市、東急(株)東急病院、奈良県、奈良県立医科大学、奈良友誼会病院、西の京病院、日本タクティールタッチ協会、個人会員1	8



一般社団法人 MBTコンソーシアム

〒634-8521

奈良県橿原市四条町840番地 奈良県立医科大学 研究推進課内

TEL：0744-29-8853 FAX：0742-90-1070

E-mail：mbt@mbt.or.jp

会員ご相談・お問い合わせ窓口：塩山忠夫